

平成22年度 長浜小学校学校経営

平成22年4月6日 長浜小学校長

心と心のキャッチボール

“元気”と“笑顔”のあふれる長浜小学校

- ・元気なあいさつ 返事 気持ちのよいことば があふれる学校
- ・さわやかな歌声が響きわたる学校
- ・一生懸命学び、仲良く遊ぶ姿が広がる学校

1 学校教育目標

『願い(夢)をもち、
自分の良さを発揮して、たくましく生き抜く子どもの育成』

めざす学校像

～子ども・保護者・地域から信頼される学校～
明るい校風に満ちた学校
確かな学力が身につく学校
安心・安全な学校

めざす子ども像

学校や郷土を愛し、郷土や社会につくす 長浜の子
なにごともよく考えくふうする子ども
が んばって最後までやりとおす子ども
は げまし合い助け合い思いやりのある子ども
ま ず健康！すすんで働き体をきたえる子ども

めざす教職員像

子ども一人一人を大切にし、尊敬される教職員
教育に対する情熱と使命感をもち、日々自分の力量を高める教職員
保護者や地域とのコミュニケーションを密にし、地域に開かれた学校づくりに
取り組む教職員
明るく元気で協調性のある教職員

2 学校経営の基本方針

子どもや地域の実態を踏まえ
学校の特性・地域環境を活かした長浜小学校教育の創造

教職員と児童・保護者が「信頼関係」で強く結ばれ、長浜地区や長浜小に「誇りと自信を持って、新しい魅力ある長浜小づくりに挑戦する場」にする。
長浜小学校アクションプランをもとに、創造性と活力のある教育を全教職員の協働により推進する。

- (1) 21世紀に生きる子どもの未来を展望し、見通しを持ち、創意工夫して教育活動に取り組み、生きる力の基礎づくりを培う「学びの場」づくりに努める。
- (2) 児童一人一人の個性・能力の伸長を図り、自ら進んで学び、自分で考え、感じ、判断し、伝えることのできる子どもを育むための授業の充実・改善に努める。
- (3) 豊かな体験や仲間づくりをめざした心の教育の充実と人権尊重の教育を推進し、「心のやすらぎをもたらす楽しい場」づくりに努める。
- (4) 家庭・地域との連携を密にし、地域と共に創造、改革・改善に取り組む「開かれた場」づくりに努める。
- (5) 教職員一人一人が、自己の個性や専門性を生かしながら、教職員相互の理解、信頼、協力を基調とした校務の運営に努める。

3 学校経営の重点

(1) 生きる力を培う教育活動の推進

長浜小学校アクションプログラムの実践に努める。
基本的な生活習慣（あいさつ・早寝・早起き・朝ごはん）の定着に努める。
安全教育の徹底及び危機管理体制の確立に努める。
食育や外遊び等による心身の健康づくりや体力づくりへの関心を高める。
準備から片付けを通して耐性を育む。

(2) 学ぶ意欲を高め、確かな学力をつける学習活動の推進

わかるできる喜び、学ぶ楽しさが味わえる授業づくりに努める。
基礎学力の定着と学習習慣・家庭学習の定着に努める。
個に応じた適切な支援と評価の工夫、集団での学び合いの工夫に努める。
学校図書館教育の推進に努める。
一人一人の二・ズに応じた特別支援教育の推進に努める。

(3) 人権を大切に、思いやりの心を育む教育の推進

お互いの気持ちを伝え合い、認め合い支え合う集団づくりに努める。
「道徳の時間」の充実による道徳的価値の追求と道徳的実践力の育成に努める。
豊かな体験・交流活動(異学年、幼稚園・保育園、他校、諸施設等)の推進に努める。
共感的児童理解を基調として、毅然とした生徒指導の充実を努める。
個の思い・願いを大切にされた特別支援教育の充実を努める。

(4) 地域に根ざし、地域を愛する心を育む教育活動の推進と地域連携の強化

地域の豊かな「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育の展開や体験活動の充実を努める。
地域学校運営理事会・PTA等との連携により、開かれた学校づくりを推進する。
小中一貫教育・保幼小の連携を推進し、児童の健全育成に努める。
韓国との交流や外国語活動を通じた国際理解教育の推進に努める。

(5) 学び合い高まり合う活力に満ちた教職員集団づくり

教職員の共通理解・共通歩調に基づく教育活動の計画と実践に努める。
「報告・連絡・相談」機能の充実と学校事務の効率的な運用に努める。
専門職としての資質向上を図る校内研究・研修の充実を努める。